

# ～図書館だより～

\*\*\*\*今年の「本屋大賞」ノミネート作を図書館に置いてあります\*\*\*\*

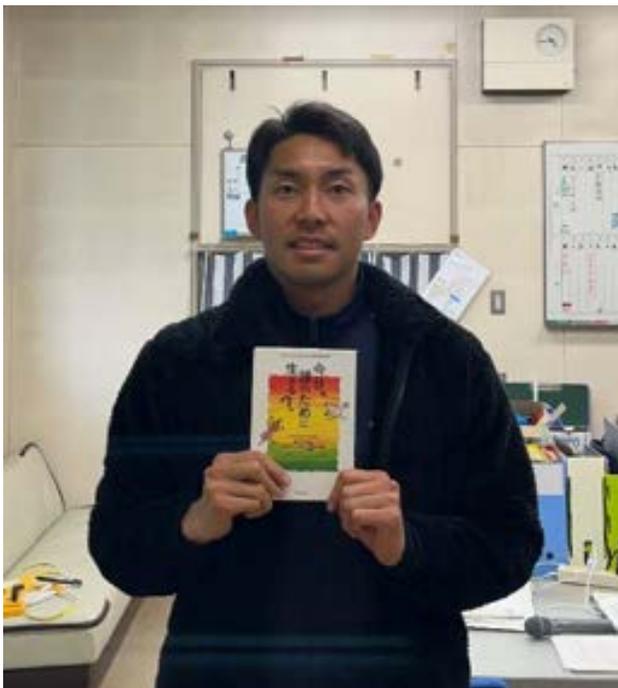
## 荻須晴基先生のお薦め本



保健体育教師も本くらい読む！ 荻須晴基の心に沁みた一冊

その本の名は…『今日、誰のために生きる？』

～アフリカの小さな村が教えてくれた幸せが続く 30 の物語～



この本を書いている SHOGEN さんはペンキ画家です。ただのペンキ画家ではありません。ある日普通の会社に勤めていた SHOGEN さんが、『ティンガティンガ』というアフリカのペンキ画に心惹かれ、翌日には会社を辞め何のつてもないまま単身アフリカへ。そのアフリカ、タンザニアのブンジュ村の村人と共に生活をしながら絵の修業をしそれと同時に村人たちとの交流により『人の生き方の本質』を学びました。その内容をこの本で伝えてくれています。『効率よくいきたければ、生まれてすぐ死ねばいい。』これがこの本の最初の言葉です。なかなか衝撃的なことばですよ。この村の人々は『無駄な時間をいかに楽しむか』というテーマで生きています。『こんなことして意味あるの？ 無駄じゃない？』『効率悪くない？』そう思うことが皆さんもあると思います。

でも実はそういう無駄だと思ふこと、しょうもないことのなかに幸せがあるというのがブンジュ村の人々の考え方なんです。

そして、この本で一番印象に残っているのが、自分に嘘をつかない自分軸の生き方をすることの大切さです。友人関係を壊したくない、人と違うことをして批判されたくないなど自分を偽って当たり障りのないことをしてしまいがちです。もちろん他人をないがしろにして自分勝手にしていいわけではないと思います。皆さんには是非自分軸の生き方をしてほしいと思います。そのヒントがこの本には隠されています！もし何か刺激が欲しい、価値観を広げてみたいと思った人はぜひ手に取って読んでみてください。進路指導室に来ていただければいつでも貸し出します！

そして、皆さん、高校3年間はあっという間です。自分らしく過ごさせていますか？もし、やりたいことにふたをしているのであればぜひ挑戦してください。そして、自分のやりたいこと、やっていることを語り合っ、応援しあってください！ GOOD LUCK!

本校図書館にある2024年「本屋大賞」ノミネート作品

|                   |       |         |       |
|-------------------|-------|---------|-------|
| スピノザの診察室          | 夏川草介  | 星を編む    | 凧良ゆう  |
| リカバリー・カバヒコ        | 青山美智子 | 黄色い家    | 川上未映子 |
| 成瀬は天下を取りに行く       | 宮島未奈  | 存在のすべてを | 塩田武士  |
| 放課後ミステリクラブ 1      | 知念実希人 | 水車小屋のネネ | 津村記久子 |
| 君が手にするはずだった黄金について | 小川哲   |         |       |



## 🌸 図書館のおすすめ本 🌸

### 『5分で本を語れ チームでビブリオバトル!』 赤羽じゅんこ

発表者が一人5分で本を紹介し観客が読みたくなった本に票を入れ、最多票を集めた本を「チャンプ本」とするビブリオバトル。本の好きな中学生童夢は勝つ自信のあった校内ビブリオバトルであっさり負け、落ちこみます。しかし「欠点は話し方だけ」と仲間たちに励まされ、再びビブリオバトルにいどむため、特訓をはじめます。

一方、チャンプ本をとったさくや（あだ名は「魔女」）はあまり本を読んだことがなかったのですが、やはりビブリオバトルにいどみます。果たして結果は？

### 『ゴールデンカムイ 絵から学ぶアイヌ文化』 中川裕

アイヌ文化を生き生き描いたマンガ『ゴールデンカムイ』は実写映画にもなった人気作です。マンガと映画でアイヌ語監修をつとめた中川氏がマンガのイラストつきでアイヌ文化について語った本です。『ゴールデンカムイ』の原作者野田サトル氏が、「アイヌ文化はまだまだ私の知らない面白いネタの宝庫だと本書を読んで知った」と絶賛しています。

🌸 『ものがたりの家 吉田誠治 美術設定集』の英語版がアメリカで「ミルドレッド・L・バチェルダー賞」を受賞しました。この賞は、図書館サービス協会が授与する児童文学翻訳賞で、日本人の受賞は6回目だそうです。

この『ものがたりの家』は、「七人のこびとの家」（童話「白雪姫」のこびとたちの家です）「竜と暮らす家」「失われた書物の図書館」など、SFやファンタジーにありそうな、でも本当は作者が想像で描いた建物のイラスト集です。

